

CASBEE-建築(新築)2014年版
アルファスマート観音寺新町

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.1
Q1 室内環境			0.40					3.7
1 音環境		3.0	0.15	4.4	1.00			4.3
1.1 騒音	住居専用部分 遮音性能25dB	3.0	0.50	5.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.9	0.50			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能	住居専用部分 コンクリートt=180 Dr=50	-	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	防音木質フロアー Lr=45	-	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	防音木質フロアー Lr=45	-	-	5.0	0.20			
1.3 吸音		-	-	-	-			
2 温熱環境		2.2	0.35	4.0	1.00			3.9
2.1 室温制御		2.2	0.50	4.0	1.00			
1 室温		3.0	0.63	-	-			
2 外皮性能	住居専用部(タイプA) 窓SC=0.6、U=2.9、外壁U=1.499	1.0	0.38	4.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.3	0.25	3.4	1.00			3.3
3.1 星光利用		1.8	0.30	2.9	0.50			
1 星光率	星光率=2.15%	1.0	0.60	4.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	1.0	0.30			
3 星光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策	居住者の開口部のグレア対策に配慮	2.0	0.30	4.0	0.50			
1 星光制御	住居専用部分:カーテン(WLール)、庇の2種類を組み合わせる制御	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.2	0.25	3.3	1.00			3.3
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	内装材等は全てF☆☆☆☆を使用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.0	0.40	2.3	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		-	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			2.7
1 機能性		3.5	0.40	2.4	1.00			2.4
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	2.0	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	2.0	1.00			
3 バリアフリー計画	チェックリストを満たしている	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.0	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	維持管理に配慮した内外装設計	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	リビング・ダイニング床:フローリング20年壁:クロス20年天井:クロス30年	4.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出部分にSUS鋼板の採用	4.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管、排水管、通気管: B以上Eは不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性		2.8	0.20		-	
1	空調・換気設備	1.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備	3.0	0.20		-	
3	電気設備	3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法	3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備	4.0	0.20		-	
多様な情報手段の設置						
3 対応性・更新性		3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり				3.0	0.50	
1	階高のゆとり			3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.0	1.00			
1	空調配管の更新性	3.0	0.20			
2	給排水管の更新性	3.0	0.20			
3	電気配線の更新性	3.0	0.10			
4	通信配線の更新性	3.0	0.10			
5	設備機器の更新性	3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.8
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.89	5.0	0.50	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)				-	-	
集合住宅の評価(3c)		LED照明、高効率機器の採用	5.0	1.00	-	
4 効率的運用		4.0	0.20	-	-	4.0
集合住宅以外の評価				-	-	
4.1	モニタリング			-	-	
4.2	運用管理体制			-	-	
集合住宅の評価		4.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	MEMSの導入	5.0	0.50	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		過半に節水コマ、省水型機器の設置	4.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		陶磁器質タイル(ベット足洗い場)、スタイロフォーム(外部断熱)	4.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体、仕上げ材及び設備の解体ができる	5.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用		壁紙の接着剤は揮発性有機化合物、有害物質を含まないものを使用	4.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=以下の発泡断熱材を使用	4.0	0.50	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.7
1 地球温暖化への配慮		LCCO2=53%	4.8	0.33	-	4.8
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	3.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		敷地外環境への熱的な影響の低減に配慮	4.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33	-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	
2	振動		-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	